

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立第三中学校

1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- ・対全国比の平均正答率は国語・数学・理科ともに高い結果となっています。
- ・国語では、「話すこと・聞くこと」と「読むこと」について良好な結果でした。これは本校の読書活動も成果につながったと思われます。一方で「書くこと」については、依然として課題が残っています。
- ・数学では、「数と式」と「関数」の領域において良好な結果でした。一方、「図形」と「データの活用」の領域については課題が見られました。また、全国平均と比べ、点数は高いものの、学力の二極化が引き続き見られます。
- ・理科の調査では、「粒子」と「地球」を柱とする領域については良好な結果でした。一方「エネルギー」と「生命」を柱とする領域については、僅かながら課題がみられます。

2. 各教科における成果と課題について

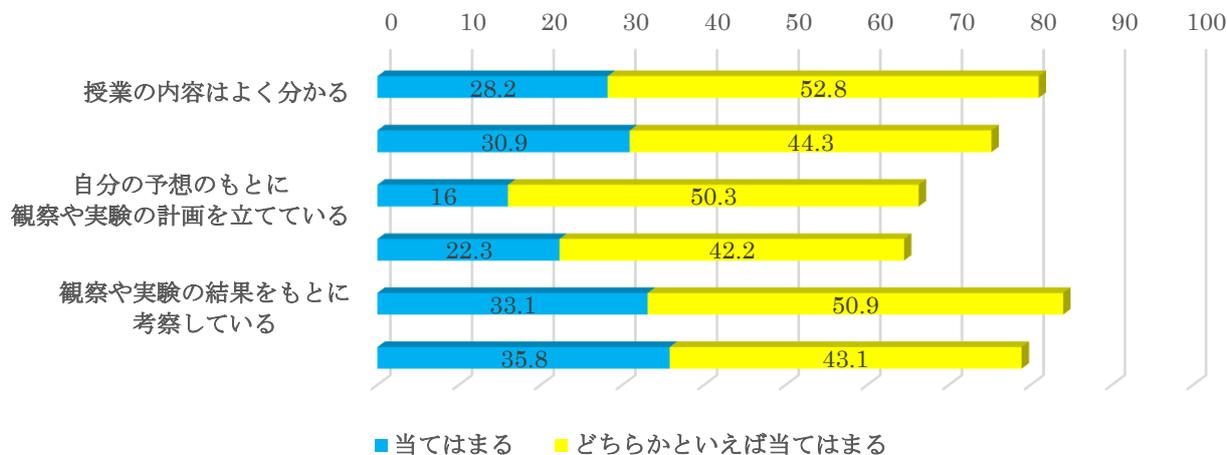
	成 果	課 題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生は日ごろから「自分の思い・考えを、文章にして書く」という活動を習慣化して毎時間行っています。その結果が、「自分の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫して話すことができるかどうかを見る」問題の正答率の高さや無解答率の低さにあらわれています。 ・表現の技法について理解しているかどうかを見る問題も安定した正答率でした。これは、本校が「学校図書館を充実・活用するモデル校」に指定されたことで、昼休みや放課後など、折に触れて種々多くの図書と出会う機会の創出を試みた結果、多種類の文章に普段から慣れ親しんでいた成果であると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の行書の特徴を理解することに課題があります。「点画の連続や省略」「筆順の変化」を伝統的な文字文化とも関連させながら理解し、それぞれがどのような書き方なのかを具体的にとらえて実際に書くような指導をすすめます。 ・「国語の勉強」についてのアンケートでは、比較的肯定的回答が多いところ、「国語の授業は好きですか」という問いのみに対しては肯定的回答が少なくなっています。生徒たちは、毎時間自分の思いや考えを文章にして書く活動によって、その力は着実に付いてきているものの、その行為自体には、まだ自信が持てていない可能性があります。

<p style="text-align: center;">数学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域、各設問における第1問の正答率は高いことから、各単元の基礎学力は定着していると考えられます。 ・「数と式」「関数」分野においては良好な結果となり、習熟度別授業の成果が表れてきていると考えています。 ・昨年度課題がみられたヒストグラム（度数分布）の読み取りに大きな改善が見られました。しかし、ヒストグラム以外の単元（箱ひげ図など）であっても、その特性と意味をしっかりと身に着けておく必要性を改めて認識しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかを見る問題」では、平均を下回っております。図形の特性を理解し、その知識を使って事柄が成り立つ理由を説明することができるように、基本的な図形の特性を早期に復習する必要があります。 ・正確にデータが読み取れていない箇所があります。データの特徴について正確に分析する力を身につけていく必要もあります。
<p style="text-align: center;">理科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的問題や、説明を要する記述問題においても正解率は高く、各単元の基礎学力は定着していると考えられます。 ・思考力・判断力を問われる問題についても、全国平均を上回っているところが多く、思考力・判断力についても、着実に力をつけられていると考えられます。これは、日々の授業において「なぜそのような現象が起こるのか、そのような結果になるのか？」等、事象の本質に迫る授業づくりを行っている成果だと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の知識を使う場合や、初めて見るような現象を分析する問題について、やや課題がみられます。 ・分野をまたいで知識を結びつけることや、初めて見るような現象についても、課題に対して自身の知識を駆使して仮説を立て、検証するため計画するなど、物事を科学的に考える力を育てていく必要があります。 ・検証実験等で得られた結果と併せて、他者の意見を取り入れ、自分の考えを説明する場面を設けることで、さらに思考力や判断力を養っていく必要があります。

3. 生徒質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉

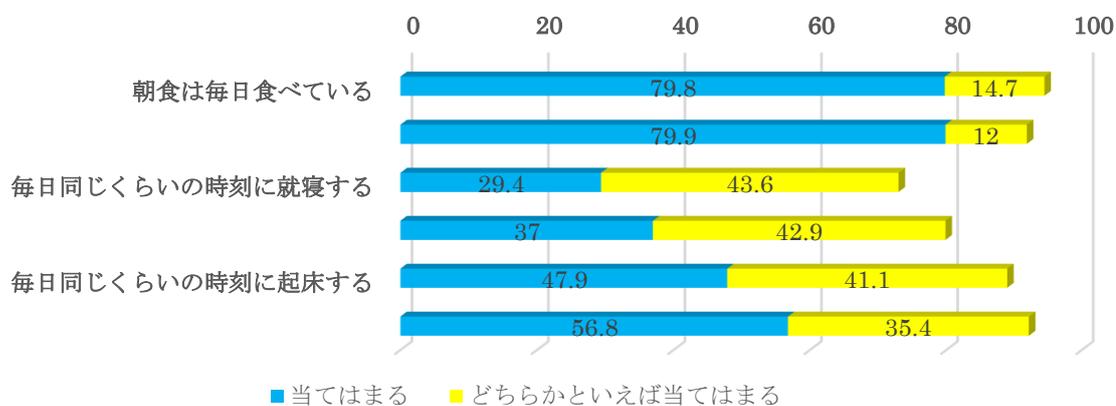
理科の授業について 上段・本校 下段・全国



本校では、落ち着いた授業環境の中で、観察や実験を「考える素材」としてとらえ、主体的に考察する場面を意識的につくっています。今回の理科で出題された、新傾向の思考・判断を問う問題に関しても、「生徒が主体的に考え、他者と対話するうえですすめていく学習活動」の素地があったため、対応できていた理由であると言えます。結果、授業の内容もよく分かる、という意識が生徒たちに浸透していると考えています。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

朝食と生活規則 上段・本校 下段・全国



本校生徒の生活リズムは、安定しているとは言えない状況です。朝食の摂取率は高く、ご家庭による協力の賜物ですが、規則正しい生活リズムの構築は、成長発達段階の生徒たちにとって必要不可欠なものです。今回、睡眠時間の不安定さが顕著になっています。

1つの要因としては、スマホやPCを介し、SNSに依存気味になることに起因した夜更かしが考えられます。現代の生徒たちを取り巻く社会で、SNSと完全に切り離していくことは、もはや不可能に近づきつつあります。本校でも、SNSモラルなどの情報教育をより一層拡充していく予定ですが、スマホ使用などのルール作りに、今一度、ご家族でも向き合っていたいただければ幸いです。

4. 成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

調査結果全般から見られる本校の成果として、どの教科も記述式問題に積極的に取り組んだことから、平均を上回る結果を残すことができたと考えています。その背景として、スクールエンパワー事業による様々な文章との出会い、自分の思いや考えを文章で書くことへの習慣化があげられます。広い範囲にわたり生徒たちにおける基礎基本知識の定着化が進んでいる傾向がみられますが、今後はその知識の応用力を伸展させる必要があります。以下の項目を重点的課題として取り組んでまいります。

(1) カリキュラムの工夫改善

新学習指導要領に示されている新たな教育課題を組み入れるために、総合的な学習の時間・特別活動・教科等の指導計画を再度見直し、学びが効果的につながるよう、様々な方法を繰り返しながら工夫をすすめます。

(2) 教職員の授業力向上

昨年度は【第三中 6 in Class】をユニバーサルデザインに掲げ、第三中学校の生徒が直面している課題を、より詳しく見取することに努めました。今年度も、学習活動において誰も取り残さない授業をめざし、教職員一同、授業研究や研修を重ねております。年間2回の校内研究授業を予定し、特に読む力の向上のため、どの教科においても音読を活用した授業を展開しています。また、授業後のふり返りを充実させ、字数制限や条件付き作文などにも対応するため、書くことについても継続して取組みをしていく必要があります。

(3) 全教科における言語活動を充実

「グループ活動」「全体での話し合い」「ペアワーク」「レポートの書き方」等は、すべての教科や領域において、学習内容を主体的に学び取るために必要であるということを全教職員で再度認識し、効果的な実践を交流します。筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を、自分の言葉で説明することができるかどうかを念頭に置いた授業づくりを行ってまいります。

(4) タブレット端末・図書教材の活用

Google Meet を活用し、生徒による相互評価や、インターネット等を活用したプレゼンテーション資料を作成するなど、生徒の思考が深まるように、タブレット端末を学習のツールとして活用します。また、学校図書館を充実・活用するためのモデル校として、図書教材（ICT 含む）を積極的に活用し、教科の枠を超えた授業づくりを継続して展開します。今後、教科横断的な問題の増加が見込まれる中、生徒たちには、より必要な力を身に付けさせることができるように、教職員一同、研鑽を重ねてまいります。

5. 保護者・生徒のみなさんへ

今年度の全国学力・学習状況調査では、3教科とも全国平均、大阪府平均を上回ることができました。

これはひとえに、普段から継続して努力している生徒のみなさんの頑張りが、結果として現れたものです。本当によく頑張っています。特に、基礎基本学力の定着化が図れてきています。これは、保護者の皆様のご協力のもと、生徒たちが落ち着いた環境で学習することができているおかげでもあります。誠にありがとうございます。

以下は、さらなる発展を目標とし進み続けるうえで、第三中学校生として頑張ってもらいたいことです。

1つめは、規則正しい生活リズムを身につけること。早寝早起きを習慣化し、栄養と休息をしっかりととりましょう。

2つめは、分からないことを分からないままにしないこと。先生、友達、保護者の方に遠慮せず質問してください。「聞くは一時の恥。聞かぬは一生の恥。」

3つめは、授業へは積極的に参加すること。まず、しっかり考える。自分の意見を臆せず発言する。人の意見を謙虚に聞く。そしてまた考える。その後、自分の考えたことを文章に書いてまとめる。

「考える」から「交流」して「分かる」と感じたら「楽しい」思いをして「次へ」つなげる。というステップで進み続けましょう。

来年3月に全員が笑顔で卒業式を迎えられるよう、これからも有効で有意義な時間を使ってください。